

Title	青果流通の「多段階性」と消費者と生産者の意識のギャップ
Sub Title	
Author	粟谷, 健太郎(Awaya, Kentaro) 林, 高樹(Hayashi, Takaki)
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2012
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2012年度経営学 第2722号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002012-2722

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学位論文（ 2012 年度）

論文題名

青果流通の「多段階性」と
消費者と生産者の意識のギャップ

主 査	林 高樹 教授
副 査	大林 厚臣 教授
副 査	井上 哲浩 教授
副 査	

2013年1月7日 提出

学籍番号	81130050	氏 名	栗谷 健太郎
------	----------	-----	--------

論文要旨

所属ゼミ	林 研究会	学籍番号	81130050	氏名	栗谷 健太郎
(論文題名)					
青果流通の「多段階性」と 消費者と生産者の意識のギャップ					
(内容の要旨)					
<p>本研究では、日本の農業と食の供給において大きな問題である生産者の高齢化と消費者の食の安全に対応するための足掛かりとして、野菜や果物などの生産とその流通過程に関する研究を行う。</p> <p>日本の食品業界の、特に青果業界の特徴は流通の「多段階性」にある。流通過程の「多段階性」が高いと各流通過程の情報の非対称性と情報伝達の困難性が高まる。その結果として消費者と生産者相互の購買や生産・出荷に対する認識にギャップがあるのではないかと。</p> <p>この仮説を実証するために、また、どんなギャップがどの程度あるのか計測するために構造式モデリング/平均構造モデルを用いた比較を行い検証した。検証結果として、仮説は立証された。さらに、消費者の購買に対する認識は消費者と生産者の間で「品質」と「安全」の要因にギャップがあること、また、生産者の生産・出荷に対する認識は消費者と生産者でまったく異なる因子が抽出され、消費者は生産者の生産・出荷に関して知識がないことがわかった。</p>					